

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

579-332

事務事業名	市外火葬場利用支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	1	4	10	4	3,120
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間		年度～	年度							
					関連計画 条例等	飯田市市外火葬場利用補助金交付要綱						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市民であってなくなられた方で飯田市斎苑を使用できなかった人	飯田市斎苑を使用できなかった人数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			118			
	23年度以前に終了は終了年度とする	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
火葬場使用にかかる費用が軽減され、安心して葬儀ができる	補助金を受けた人数	18目標	最終目標			
		18実績	118	19目標		
	23目標	23実績			最終目標達成年度	
	補助金を受けた人数/飯田市斎苑を使用できなかった人数(%)	18目標	100	最終目標		
		18実績		19目標	100	
		23目標	100	23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市内に住んでいる方が亡くなられ火葬を行う場合、飯田市斎苑を利用させていただくのだが、たまたま空いていなくて市外の火葬場を使用した場合に、使用料の差額を補助する。	補助金額に上限をもうけた。 市外火葬場利用補助金の交付 ・申請受付 ・審査 ・交付決定 ・交付  18年度の実績  19年度計画	受け付けた申請の件数 補助金を交付した件数	
		申請に基づく補助金の交付		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	3,714	3,140
事業費計(A)	3,714	3,140	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	4,072	3,498

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	生活に必要な基盤が整う	居住基盤の満足度	現状値	19実績		
			20実績	21実績		
			22実績	23目標		
			現状値	19実績		
			20実績	21実績		
22実績			23目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成3年より実施している。 同じ市民であっても、飯田市の斎苑が利用できる、できないによって負担に不公平が生じるようになったため	飯田市斎苑の利用状況を見ると飯田市外の方が3割ほど使用しており、その割合は年々増加している。そのため、利用できない市民も増加している。19年1月西部衛生センター火葬場が使用料の値上げを行い、周辺のすべての火葬場の使用料が50,000円(大人)になった。	特になし

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	